

## 3月から新しい看護師さんが着任しました!

3月1日から5月31日まで朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の二瓶香織さんです。郡山市出身の二瓶さんは、看護師だった親戚の影響や、大切な家族の健康を支えたい気持ちから看護師を目指しました。

只見町へ着任した当初は、雪の量が多く驚いたそうですが、現在は診療所で中央病院(総合病院)との違いを学びながら、患者さんとの関わりを大事にしています。「早く只見町の方言を覚えて馴染んでいきたい」と話す二瓶さんをどうぞ宜しくお願い致します。



学生時代はバスケットボール部に所属していた二瓶さん

## 広報ただみ診療所

朝日診療所  
所長 若山 隆



### 「肺炎球菌ワクチンについて」

雪も少なくなり、4月がやってきました。朝日診療所も新体制となり、新しいスタッフを迎えております。来月号で新任医師の紹介などを行う予定ですのでよろしくお願いたします。

今月は65歳以上の方を対象とした肺炎球菌ワクチンの情報提供を行いたいと思います。肺炎は日本人の死因の第4位になっており、特に高齢者に多いです。肺炎の原因としては肺炎球菌が一番多いとされています。この肺炎球菌による重度の感染症を予防できる肺炎球菌ワクチンは2種類存在します。「ニューモバックス」と「プレベナー」です。

厚生労働省が平成26年度から定期接種として勧めているのが「ニューモバックス」と呼ばれるもので、TVやCMなどでよく報道されています。今年度に65歳・70歳・75歳…100歳と5の倍数の年齢になる方は、定期接種の対象者となり、安くワクチンを受けられます。しかし、過去に一度でも「ニューモバックス」を受けたことがある方は安くなりません。只見町では東日本大震災があった平

成23年・24年度に半額または無料で「ニューモバックス」が受けられたので、そのときに受けた方も多いと思います。

肺炎球菌ワクチンの有効性は5年間と言われていたことで、只見町でも「ニューモバックス」の接種後5年以上過ぎた方が多くなってきています。そんな場合にお勧めなのは「プレベナー」の方を接種することです。ニューモバックスとプレベナーは免疫反応の起こし方が異なるとされ、2種類とも接種することで、より肺炎を予防する効果がたかまるとされています。米国疾病予防管理センターでも「ニューモバックス」と「プレベナー」の2種類を、それぞれ1年以上の間隔をあけて受けることを勧めています。

「プレベナー」は定期接種になっていないので、診療所では約13,000円の自己負担がかかってしまいます。安くはありませんが、肺炎で苦しんだり入院したりすることが少なくなると思えば高いとも言えないのではないのでしょうか?おススメです!

## 地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊

vol.29

松本 貴芳



### 「冬の業務について」

皆さんはじめまして、松本貴芳と申します。私は愛知県名古屋市出身で、去年の12月に只見にやってきました。只見に来る前はデンマークに住んでおり、おそらく日本人移住者史上、最も遠い場所からやってきたのではないのでしょうか(笑)。

そんな私の任務は、只見高校の公営塾講師や、山村教育留学生の寮「奥会津学習センター」のハウスマスターです。公営塾の仕事では主に英語を指導しています。指導しているといっても、時には私たちにとっても難しい問題があります。そんな時には、生徒と一

緒に考えながら、一緒に答えを導き出していきます。「最初はわからなくていい、少しずつ“わかる”を増やしていけばいい」そんな気持ちで生徒と接しています。

赴任したばかりで、まだまだ只見のこともわからないことばかりですが、少しずつ“わかる”が増えていけばいいなと思います。そして、ハウスマスターとしては山村教育留学生たちの親代わりとして、時には厳しく優しく接していけたらと思います。これからも末永くよろしくお願いたします!